

予算決算常任委員会での発言			
	議員名	通告項目数	通告外
日本共産党	山岡 光広	26	発言有
	小西喜代次	22	発言有
	岡田 重美	5	発言有
凜風会	☆林田 久充	0	発言有
	橋本 律子	1	無
	☆辻 重治	0	発言有
	☆土山 定信	0	発言有
	☆田中 新人	0	発言有
	谷永 兼二	1	発言有
	橋本 恒典	議長	
	山中 善治	監査委員で出席せず	
	☆田中 喜克	0	発言有
	西村 慧	9	発言有
志誠会	☆小河 文人	0	発言有
	森田 久生	1	無
	戎脇 浩	4	発言有
	☆山中 修平	0	発言有
	★里見 淳	0	無
公明党	田中 將之	委員長	
	★白坂萬里子	0	無
	堀 郁子	3	発言有
無党派	☆鶴飼 勲	0	発言有
	竹若 茂國	13	発言有
	糸目 仁樹	6	発言有

日本共産党は積極的に発言

一般会計決算を審査する予算決算常任委員会は、10日から15日までの4日間、集中して開催されました。今回は事前の発言通告制となりました。上記の表は、事前の発言通告項目数とその他の発言有無。☆は通告なし。★は通告もその他発言もなし。詳細は、ネットでの録画を視聴して下さい。

★2議員は4日間発言なし

一般会計決算に対する山岡光広議員の反対討論骨子

- 令和2年度は、歳入歳出とも過去最大となったが、コロナ対策を除くと過去5番目の決算。最大のポイントはコロナ対策への対応。
- コロナ対策には、他市にはない「減収要件なし」で市内事業者への一律10万円支給などは評価できるが、一番大事なコロナ感染防止策、封じ込めのための施策は「県任せ」で、市独自に必要なPCR検査には一円の予算も投じられてなく、最優先課題として取り組むべき。
- 歳入では、市税収入対策の基本は、市民の懐を暖める施策です。ここに力を入れる必要がある。ふるさと応援寄附金は、実質1億2336万円で、甲賀市のアピール策では有効だが、歳入確保では、課題が残る。
- 歳出では、「市民の願いに応える施策が講じられたのか」という視点では、切実な願いの「中学校卒業までの医療費の無料化」は、湖南市、長浜市が広げた。市長の姿勢にかかっている、子育てNO1めざす甲賀市なら早急に実現する必要がある。
住宅リフォーム助成制度は、10倍以上の経済効果あり、制度の充実を求める。
市民意識調査でも関心が高いが満足度が低いコミバス・コミタクの充実、ダイヤの改善・エリアの拡大は、その実態と市民ニーズを把握した対応が大事。
- 全体として特徴なのは、アウトソーシング・民間活力導入など福祉・公共サービス分野への民間が参入。市が担うべき役割を民間に委ねるのは問題があり、再検討を。情報システムの標準化で、おうみ自治体クラウドに加わっているが、甲賀市独自の施策が講じられないという側面からも検討が必要。
- 市職員の健康管理の充実、非正規職員の処遇改善と働きやすい職場環境は、働く意欲を促し、職員の知恵と工夫が生かされ、市民サービスの向上につながる。
- 決算の前進面と教訓を、現年度の施策執行と、新年度予算編成に生かすことを指摘し。反対討論とする。

山岡光広議員が一般会計決算認定に反対討論

令和2年度の一般会計や国保などの特別会計決算などを審議する9月議会は22日に閉会しました。主な議案や意見書に対する各党派・議員の態度は次号に掲載します。

可決 特別支援学校の実効ある設置基準策定を求める意見書

日本共産党山岡議員提案の「特別支援学校の実効ある設置基準策定を求める意見書」が22日の本会議で可決されました。

反対したのは志誠会（小河・森田・戎脇・山中修・里見）、公明党（田中將・白坂・堀）、無党派の糸目議員。戎脇議員は総論賛成だが一律に求めるのには無理があるとの理由で反対討論。

戦争法の強行採決から6年の9月19日、市役所前でのメモリアルデー



日本共産党
甲賀市議員団ニュース
 2021年 9月26日 第375号



山岡 光広
 甲南町森尻 16
 TEL 86-2985
 Fax 86-0415



小西喜代次
 信楽町勅旨 456
 TEL 83-0765
 Fax 83-0765



岡田 重美
 土山町南土山甲 78-15
 TEL 66-0696
 Fax 66-0696